

あ。道だ。

焼石 胆沢川 小岩沢

池田

【日時】 2006年9月16日(土)

【メンバー】 L鈴木、古野、佐藤、渡辺、池田

3連休で佐渡に行くはずだったが、普段は就航率98%の佐渡汽船も、台風13号でさすがに欠航だろう、ということで、急遽焼石の沢に行くことになった。

朝起きたら8時半。昨日トマの風みちのく支部に着いたのが朝4時半だから、無理も無い。急いで支度をし、大岩橋から入溪したのが10時すぎだった。(小岩橋というのにも近くにあるが、それは別の沢。)すでに1台の車が停まっており、入溪準備をしている人たちが4人いる。

小岩沢は入溪直後から、手頃な滝や岩、高巻きが続く、楽しめる沢。しかし最初の高巻きで、少し登った所に先ほどの4人パーティがいて、ザックを降ろして食事をしていた。なぜこんな所で・・・!?と先を見ると、10人近い人が行列を成している。講習会のようなのだ。しばらく講習会の後についていたが、適当なところで先に行かせてもらった。



見た目より易しい6mの滝
(と言いつつもお助けは出してもらった)

そのせいかどうかは分からないが、予想以上に時間がたってしまった。このまま上流まで詰めて、登山道から戻ると暗くなってしまう。そこで2つめの滝を超えた所で左岸の尾根に登り、藪こぎをして尾根伝いに戻ろうと作戦会議。「同沢下降だけは絶対にイヤだ」とリーダー。「(講習生に)『あいつら戻ってきた』と笑われるのは、プライドが許さん!」。

地形図2つ目の滝マークを右岸から巻き、左岸の尾根が下がって、取り付きやすそう

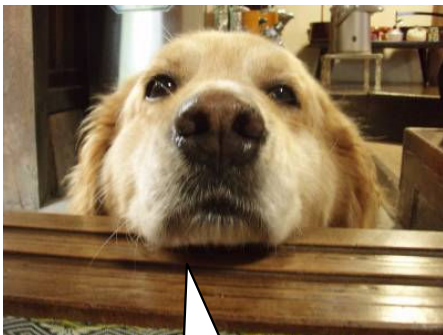
なところから尾根に乗った。すると・・・えっ！道！？キレイに整備された登山道がある。地図には出ていない。でも下草は刈ったばかりだし、赤布や、ペンキの矢印まである。どこに向かっているのか、しばらくは磁石とにらめっこで進むが、どうやら我々の目的地と合致しているらしい、と分かったと、どこからともなくビールが出てきて、乾杯。ふと見ると眼下の沢を講習生たちが一所懸命登っている。あ～、申し訳ない。多分あの人たちはこのまま沢を詰めるのだろう。まさか「さっき追い抜いていった人たち」が頭の上でビールを飲んでるとも思わずに。

快適な登山道を1時間も下ると、大岩橋に出た。ちょうどその時、雨が降り出した。かくも調子良く、おいしい所取りの充実した山行ができたのは、熟年パーティの経験とセンス、あとは日ごろの行いのおかげ、かな？

【グレード】1級上 (2つ目の滝マークまで)

【行程】9/16 大岩橋より入溪(10:15)～2つ目滝マークから尾根へ(13:40)～大岩橋(15:00)

【地図】焼石岳



翌日行った
イワナ料理専門
店「イワナの里」
の看板犬



清水上家で3P合同の
大宴会